



ふじ むらさき
諫高だより 藤 紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

3月 次のステップのために

校長 石部 邦昭

「初心忘るべからず」

当流に、万能一徳の一句あり。
「初心忘るべからず」世阿弥

この万能一徳の一句とは、すべての秘技はこの一句から生まれるということで、工夫と修練による能を理想としていた世阿弥は、いつも過去の過ちや悪い癖を身にとどめ、繰り返さないよう初心に戻ることを心がけていた。

しかし、人間という生き物は弱い動物である。「成功は苦心の日にあり」と言われるように、あの日あの時一生懸命やったから、もがき苦しみ必死でやったから成功したのに、またそのお陰で富を得、地位も得たのに、悲しいかな、そのことを忘れ、やがて奢りの気持ちが生まれ、人を見下し放漫な生活を送っていく人がいる。物言いも高飛車で歩く姿勢もいつの間にか、のけぞっている。昔からそう言う時に魔の手が伸び、足下がすくわれる事件が起きる。不祥事などその典型であろう。そして富や地位、名誉すべてを無くす。実るほど頭を垂れる稲穂かな。謙虚な姿勢、「初心忘るべからず」。心に留めておきたい。

蛍雪の功

蛍の光 窓の雪 書(ふみ)よむ
月日 かさねつつ …

卒業証書授与式も佳境に入り感動の中で歌った「蛍の光」。この歌詞は中国の故事「蛍雪の功」からきている。

晋の時代、車胤(しゃいん)という青年がいた。多くの書物に目を通して、一心に勉学に励んでいたが、家が貧しく、なかなか灯(ともしび)の油を買うことができなかった。「夜も、本を読む明かりがほしい」そこで彼は、夏の間、ホテルを集めて薄い絹の袋に入れ、明かりとしたのであった。また、孫康(そんこう)という青年も貧苦の中、学問に励んでいた。彼も油を買うお金がなかったので、冬の夜は、寒さに耐えながら雪の明かりで書を読み、夜を日に継いで勉学したという。

やがて二人とも努力が実り、それぞれ官に仕えて、重んじられ活躍したという。努力の大切さを後輩に残した308名の第60回生。大学入試結果も蛍雪の功あって好成績だった。何よりも嬉しいのは「続けると本物になる」ことを実証してくれたことである。

試練を乗り越えて

寒さにふるえた者ほど 太陽の
暖かさを感じる ホイットマン

アメリカの詩人ホイットマンの言葉である。実感することがあると思う。寒さにふるえながらの温かい飲み物は最高である。よく考えると人生は寒さ、厳しさの連続といってよい。我々はそれを試練として受け止め、たくましく立ち向かいそれを乗り越えていかなければならない。その時に人は一回り大きくなる。困難な場面に出会った時、どう対処するかでその後の人生が変わる。絶対に逃げてはならない。試練をチャンスに出来るか。あらゆる場面で試される。また、「夜明け前が一番暗い」とも言われる。「こんなに努力しているのに」と嘆くなかれ。「挑戦を続けよう」必ず夜は明ける。成功が待っている。3月は別れの季節である。お世話になった人にお礼の言葉と同時に再会の約束をして欲しい。「試練を乗り越えて一回り大きくなった自分をその時見てもらいたい」と。

♠ 蛍の光 窓の雪 書よむ月日 かさねつつ … ♠

平成 19 年度卒業証書授与式

平成 19 年度卒業証書授与式を 3 月 1 日(土)、本校体育館で挙行了しました。普通科第 60 回生 232 名(男子 116 名、女子 116 名)、理数科 3 回生 76 名 (男子 44 名、女子 32 名) 計 308 名が 3 年間
の高校生活を終え、新たな世界に向けて旅立ちました。

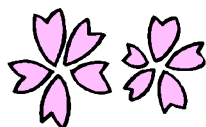
卒業証書授与の後、校長式辞、在校生代表送辞、卒業生代表答辞と続き、大きな感動が式場全体を包みみました。最後に、全校生徒・職員が声高らかに式歌・校歌を斉唱し、本校応援団がエールを贈りました。その後、担任と最後のホームルームを終え、学び舎を後にしました。



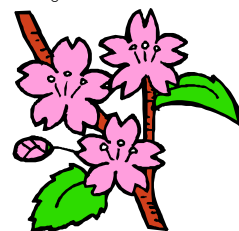
今年も1番 **大学入試*** ** ** **

平成20年度大学入試は、ほぼ終了しました。国公立大学前期日程合格者数では、本校は190名で今年も県内公立高校で、1番の合格者数でした。主な合格大学は、東大1、京大3、阪大3、九大20、長大35などです。医学部にも3名が合格しており、内容的にもすばらしい結果でした。

*** **



高校入試合格発表



平成20年度の諫早高校入試の合格発表が3月19日(水)9:30に行われた。普通科男子116名、女子124名、計240名、理数科男子56名、女子24名計80名が合格しました。普通科63回生、理数科6回生として、4月に本校に入学する予定です。諫早高校の伝統を受け継ぎ、発展させてくれるものと期待をしながら入学を心待ちにしています。

合格を喜ぶ受験生→



第2回クラスマッチを開催



平成19年度第2回クラスマッチを3月17日(月)に開催しました。当日は、快晴・無風という絶好のコンディションに恵まれ、生徒たちは日頃の学業から解放されて楽しい一日を過ごし、良い気分転換になったと思います。

7月に開催した第1回では、1年生は初めての大会ということと3年生の気迫に圧倒された面がありましたが、今回の大会では、1年生と2年生の2学年の参加で、1年生も思う存分自分たちのクラスの名誉のために力を発揮して頑張っていました。

<大会結果>

◎男子バレーボール	◎女子バレーボール	◎男子バスケットボール	◎女子バスケットボール
1位 2-7	1位 1-4	1位 1-8	1位 1-4
2位 2-1	2位 2-1	2位 2-6	2位 1-6
3位 1-4	3位 2-3	3位 2-3	3位 1-1

- ◎男子ソフトボール
- 1位 2-1
- 2位 1-5
- 3位 1-6

- ◎女子ドッジボール
- 1位 2-4
- 2位 1-5
- 3位 1-6

- ◎男子バドミントン
- 1位 2-7
- 2位 2-5
- 3位 1-4

- ◎女子バドミントン
- 1位 2-3
- 2位 1-4
- 3位 1-2

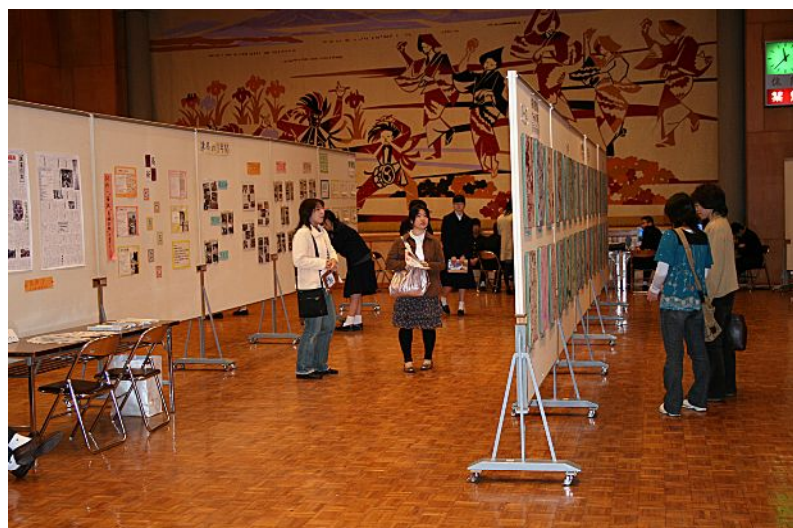


第9回文化部合同祭



第9回文化部合同祭を3月16日(日)に、諫早文化会館で開催しました。大ホールでは、午前中に放送部とコーラス部、午後にギター・マンドリン部と吹奏楽部が日頃の練習の成果を発表しました。中ホールでは美術部・新聞部・文学部・パソコン部・科学部・写真部・英語部・イラスト同好会・書道部の作品展示を行いました。また、和室では茶道部によるお茶会を行いました。

当日は、卒業生や一般の方など多数の参加を得て成功裏のうちに終了しました。文化部は発表する機会が少ない中で地道な活動を続けています。合同祭は、文化部の生徒にとって貴重な発表の場になっています。文化部の活動がさらに活発になるように、この合同祭をより良いものにと考えております。



↑ テージ発表する吹奏楽部

← 展示を鑑賞する卒業生

<部活動の戦績> ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎陸上部

第15回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝大会 3月9日(日):鹿児島県阿久根市

・男子 優勝 2時間8分1秒

・女子 3位 1時間10分25秒

1区 小嶺 篤志 区間3位(通算3位)

1区 末吉 茜 区間5位(通算5位)

2区 松尾 郁也 区間4位(通算3位)

2区 松本 千尋 区間2位(通算2位)

3区 寺田 夏生 区間5位(通算2位)

3区 岡本 愛美 区間2位(通算2位)

4区 山下 展弘 区間2位(通算2位)

4区 濱崎 啓江 区間2位(通算2位)

5区 与賀田 駿 区間5位(通算3位)

5区 林田詩緒里 区間3位(通算3位)

6区 松本 拓也 区間1位(通算1位)

7区 茅原 祐也 区間2位(通算1位)

◎弓道部

平成19年度長崎県高等学校中地区新人体育大会第16回弓道大会 3月16日(日):島原市

・男子団体優勝

男子個人2年生 1位 本田 廉人 3位 富永 修次 4位 野崎 修平

男子個人1年生 2位 坂口 拓 3位 川崎 健大